

小学校児童の個人情報が入ったUSBメモリの紛失について

小学校の講師が、児童の個人情報を保存したUSBメモリを誤って紛失する事案が発生しました。

関係する児童及び保護者の皆様に深くお詫び申し上げます。なお、詳細は以下のとおりです。

1 概要

小学校の講師が、年賀状送付用に作成した児童の住所、氏名等の個人情報を保存したUSBメモリを紛失する事故が発生した。

※USBメモリに保存されていたデータ

- ・児童47名分（通常学級31名分、特別支援学級16名分）の住所及び氏名
- ・特別支援学級児童4名分の通知表（学習や生活の記録）の下書き
- ・児童の集合写真

※紛失した職員

特別支援学級担任 講師

2 経過

- ・令和元年（2019年）12月22日 児童の住所等の年賀状用データ等を保存した私物のUSBメモリを校外へ持ち出し、カメラ店で年賀状を印刷依頼後、USBメモリをスーツのポケットに入れ、飲食店等に立ち寄った後帰宅
- ・令和2年（2020年）1月6日 USBメモリの紛失に気づき、自宅や学校等を検索
- ・令和2年（2020年）1月7日 本人が教務主任にUSBメモリの所在を尋ねる
- ・令和2年（2020年）1月8日 教務主任が教頭へ報告。教頭が本人へ事実確認後に校長へ報告
- ・令和2年（2020年）1月9日 本人が教頭へ個人情報が入っていたことを報告。校長が教頭から報告を受け、徹底的に探すよう指示
- ・令和2年（2020年）1月14日 学校から教育委員会へUSBメモリの紛失を報告

3 原因

USBメモリには、個人情報は保存しないこととなっているにも関わらず、指導に反し、USBメモリを使用し校外に持ち出したものであり、個人情報の取り扱いに関する意識の低さが原因

4 対応

- ・令和2年（2020年）1月15日 警察へ遺失届出書を提出
- ・令和2年（2020年）1月16日 保護者会を開催し、謝罪するとともに状況を説明
- ・現在もあらゆる可能性を視野に入れて捜索中

5 再発防止策

- ・USBメモリの使用を含む個人情報の取り扱いについて、改めて各学校長への指導を徹底します。
- ・情報セキュリティ研修や校長会等での指導に継続して取り組みます。
- ・今後、学校の職員用パソコンでのUSBメモリ使用を不可能とする技術的対策を実施します。

【問い合わせ先】

熊本市教育センター教育情報室

電話 096-245-6310

室長：本田 裕紀（ほんだ ゆうき）